

本日の深掘りウォッチ：主要生命保険会社の「2025年度第1四半期」決算資料を特集

2025年度第1四半期決算資料 主要生命保険会社 一覧

<前提> **各社単体の決算**を特集（連結ではない）。※各媒体に掲載の数値は、「連結」か「単体」か確認。

- 大手4社の基礎利益は、金利上昇や株高による運用益が拡大、業績を大きくけん引したことにより過去最高となる。
- 課題は、医療保険や介護保険など主力の保障性の商品の販売。苦戦は続いており、未だコロナ禍前の19年度未満の水準となっている。

※日本生命と、第一生命、朝日生命の「新契約件数」は、複数の保険契約単品を組み合わせる加入している商品について、それぞれの保険契約を1件として記載。

会社名	保険料等収入		基礎利益		ソルベンシー・マージン比率		【連結】ソルベンシー・マージン比率		年換算保険料				件数				各社サイトリンク
	億円	前年同期比	億円	前年同期比	%	前年度末差	%	前年度末差	保有		新契約		保有		新契約		
									億円	前年度末比	億円	前年同期比	千件	前年度末比	千件	前年同期比	
日本生命	11,157	89.8%	1,641	102.0%	839.5	▲22.4	864.9	▲23.6	36,915	99.7%	540	91.9%	34,260	99.8%	927	88.3%	■
第一生命	5,569	97.9%	630	87.2%	799.6	▲53.3	開示なし	開示なし	19,447	100.0%	237	78.0%	25,024	100.5%	721	118.7%	■
かんぼ生命	5,768	56.5%	920	211.7%	891.5	▲1.9	901.2	▲2.0	22,393	97.8%	269	42.1%	12,983	98.3%	116	39.3%	■
明治安田生命	11,051	149.8%	505	50.3%	986.0	▲4.9	1,022.9	▲41.0	21,275	99.9%	420	134.5%	12,709	99.9%	290	105.4%	■
住友生命	4,718	87.4%	603	79.6%	722.2	▲21.0	638.2	3.3	22,213	99.5%	204	85.6%	10,773	99.6%	194	99.8%	■
フコク生命	1,520	108.0%	124	59.0%	1,144.7	36.7	1,182.1	34.7	3,605	100.1%	51	109.3%	3,640	100.1%	96	96.0%	■
朝日生命	909	102.8%	92	57.2%	995.0	▲16.2	1,033.2	▲18.3	4,595	99.2%	49	102.8%	7,522	99.3%	152	98.7%	■
ソニー生命	4,336	95.1%	369	100.4%	1,216.9	▲371.8	1,220.7	▲376.4	13,137	101.2%	407	92.6%	9,303	100.4%	166	88.0%	■
プルデンシャル生命	3426	83.3%	102	64.7%	770.7	22.9	780.8	23.4	8,612	98.7%	183	95.2%	4,647	100.4%	78	87.6%	■
アフラック生命	3,287	100.7%	962	74.6%	901.5	▲71.8	920.3	▲69.6	12,878	99.8%	185	132.5%	22,139	99.8%	310	159.0%	■

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考にさせていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。お問い合わせ等は下記URLまでご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています、著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複製・複製・転載することは禁じられております(<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2025 k's らぼ株式会社

本日の深掘りウォッチ：主要生命保険会社の「2025年度第1四半期」決算コメント まとめ

会社名	コメント
日本生命	<ul style="list-style-type: none"> ソルベンシー・マージン比率は、デリバティブリスクの増加等により前年度末比で低下。 日本生命単体では、前年同期比で減収・増益。 保険料等収入は、営業職員チャネルの減少等により、減収。 ① 新契約において、「個人年金」が躍進（155.0%）。
第一生命	<ul style="list-style-type: none"> 当期において、子会社、子法人等及び関連法人等が小規模であり、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表を作成していない。 ② 新契約において、「個人年金」が激減（▲45%）
かんぽ生命	<ul style="list-style-type: none"> ③ 個人保険の新契約件数は、一時払終身保険の販売減少等の影響により、前年同期比△60.6%と減少。 保有契約件数は、前期末比△31.5万件（△1.7%）と減少。引き続き、新区分における早期の底打ち反転を目指す。
明治安田生命	<ul style="list-style-type: none"> 営業職員チャネルにおける円貨建一時払保険の販売好調により保険料等収入が増収。 基礎利益は、円貨建一時払保険の販売好調に伴う、標準責任準備金の積立コストの増加を主因に、前年同期から49.7%の減益。
住友生命	<ul style="list-style-type: none"> 住友生命は、Vitality を中心に保障性商品の販売が好調であったものの、主に外貨建一時払終身の販売が減少したこと等により、前年同期比14.4%の減少。 住友生命は、外貨建一時払商品の販売が減少したことを主因に、前年同期比12.6%の減少。 基礎利益は、住友生命は、株式の配当金増加や為替ヘッジコスト減少に伴い順ざやが増加したものの、保険関係差益が減少したことにより、前年同期比20.4%の減少。 連結ソルベンシー・マージン比率は、638.2%（前年度末比+3.3pt）となり、引き続き、健全とされる200%を十分に上回っている。

①.日本生命

・新契約

(単位：億円、%)

区分	2024年度 第1四半期累計期間		2025年度 第1四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
個人保険	546	87.1	476	87.1
個人年金保険	41	155.0	64	155.0
合計	588	91.9	540	91.9
うち医療保障・生前給付保障等	113	91.2	103	91.2

②.第一生命

・新契約

(単位：億円、%)

区分	2024年度 第1四半期累計期間		2025年度 第1四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
個人保険	115	131.7	152	131.7
個人年金保険	189	45.0	85	45.0
合計	304	77.9	237	77.9
うち医療保障・生前給付保障等	89	130.4	116	130.4

③.かんぽ生命

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区分	2024年度 第1四半期累計期間				2025年度 第1四半期累計期間					
	件数	金額			件数	金額				
		新契約	転換による純増加	前年同期比		新契約	転換による純増加	前年同期比		
個人保険	295	7,732	7,732	—	116	39.4	3,228	41.7	3,228	0
個人年金保険	0	3	3	—	0	50.7	1	36.4	1	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—